

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	林 昭雄	電 話	483-1151 内線：3220
-----	-------	-----	---------	------	------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3242		事務事業名称	し尿処理事業					短縮コード	経常	3242	臨時	3243
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
し尿処理業務は、民間業者が数社で作業をしていたが、法改正により業務遂行が不可能になり、代わって財団法人八千代市衛生公社を昭和42年に設立して、市の委託を受け業務を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして				
公共下水道の普及と浄化槽の設置により、し尿汲取り件数が減少している。今後も件数が減少していくことが考えられる。							大項目（節）	03	環境・衛生				
							中 項 目	04	し尿処理				
							小項目（施策）	01	処理体制の整備				
							細 項 目	01	衛生センターの適正な管理運営				
						実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	し尿汲取り利用者						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： ①し尿収集運搬業務を衛生公社へ委託 ②し尿汲取り申請受付業務 ③し尿汲取り手数料の賦課・徴収業務 ④過誤納金の還付						
	※平成18年度に計画していること： 平成16年と同じ						
意図 （何を狙っているのか）	し尿汲取り業務を効率的に行い、生活環境の保全を図る						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	適正処理される。						
区 分			単位	16年度	17年度		18年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	し尿処理人口	人	4,312	4,004		3,708
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	し尿汲取り件数	件	12,678	11,470		10,621
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	1件あたりの処理コスト	円	5,551	5,881		0
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業				所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			汲み取りから公共下水道への接続及び浄化槽化が進むと思われることから事業規模の縮小が考えられる。 し尿処理手数料の見直しについては、今後とも適正な手数料について検討をおこなっていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			汲み取り人口の減少が予想されるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
し尿処理手数料の納入窓口の拡大	

所属長コメント	汲み取り世帯の減少に伴い今後については、事業についての見直しを行う必要があると考えられるが、現時点では未定である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	今後は有効性と効率性を検討していくべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		